

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2393400094
事業所名	グループホームはなえくぼひくみ

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2) コロナ禍で、交流が難しい状況が続いている。地域行事はほとんどが中止、お知らせも来ない現状で、楽しみにしていた老人会も休止のまま、ホームの認知症カフェも休止と、利用者の楽しみに広がりは見られない。その状況下でも、日課の散歩は継続し、声を掛けたり掛けられたりとの交流は継続している。季節の果物や野菜が到来する等、地域から気にかけてもらえる存在になっている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3) コロナ禍で、この1年は6回全てを书面開催にしている。ホームの運営報告を基に資料を作成、メンバーに送付して、アンケート式で意見を募っている。メンバーからは毎回返信が寄せられ、議事録に記載し、回答している。地域包括支援センターから、FAXだと写真が白黒になって残念だという意見をもらい、早速メール添付に切り替える改善も行っている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4) 行政担当部署とは、ホーム運営に係る相談・報告を通じて連携している。昨今はメールでのやり取りが多い。行政担当部署、地域包括支援センター共に運営推進会議の資料と議事録を配付し、意見や提案を仰ぐとともに、ホーム理解を進めている。地域包括支援センターとは、地域高齢者の情報を共有しており、利用者紹介につながる場合もある。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6) 運営推進会議メンバーのご家族とは、事前のアンケート実施で、意見や質問、提案等を聞き取っている。面会時、電話連絡時には個別に直接の意見聴取の機会を作っている。聞き取った意見には真摯に対応し、ホーム運営に活かしている。昨今は、コロナ禍のホームの対応・対策に意見や質問が多く、その都度対応・対策を検討し、反映させている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

【備考欄】

コロナ禍で、この1年は6回全てを书面開催にしている。
----------------------------

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	-	-	-	×	○	○	○	○	○	◎	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎	○	◎								